

# オリオン通りをつなぐ コミュニティカフェ

宇都宮大学行政学研究室中村ゼミ

高橋隆浩

佐川琴美

吉田正絵

飯塚 瞳



C a f e  
KANMAS



3

商店街、市政、学生の3つの主体

2

学生主体の事業で2年間で打ち切り

# 1

市政の人が改装中に訪れた回数は1度。

事業主

人数不足



継続

商店街

受け身の  
姿勢



参画の  
意識

市政

現場への  
行き来が  
少ない



連携が  
不足

事業主の活動へ積極的に参加  
市と連携し中心商店街へ

商店街

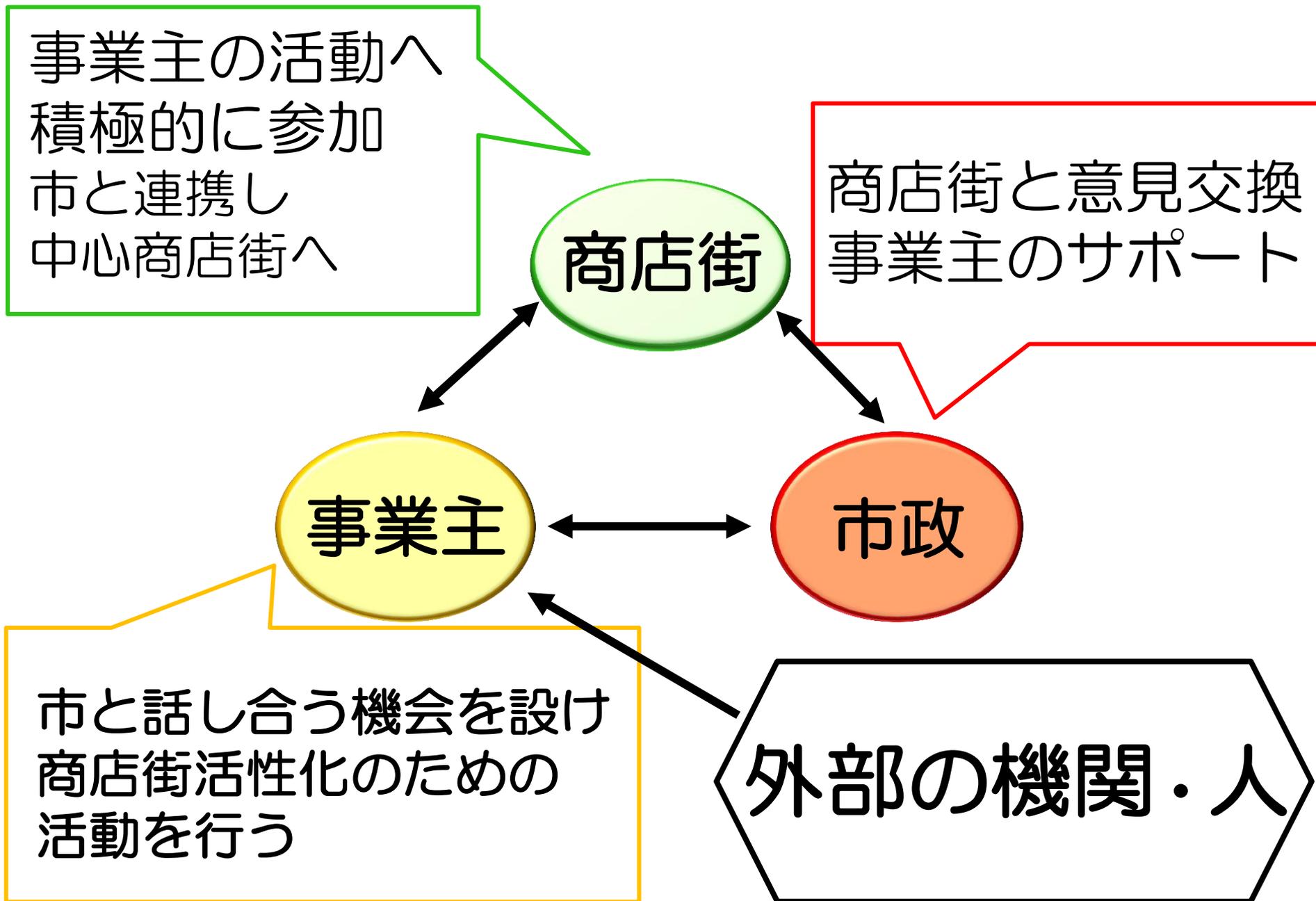
商店街と意見交換  
事業主のサポート

事業主

市政

市と話し合う機会を設け  
商店街活性化のための活動を行う

外部の機関・人



# 私たちの提案

## コミュニティカフェの設立

運営者・行政・住民が関わる場を提供し、地域資源を見直す。

オリオン通りを変えていこう  
という意識を向上させる。



私たちの提案

オリオン通りを繋ぐ  
コミュニティカフェ

	年間目標	前期	後期
1年	オリオン通り	商店街関係	他商店とイ 画
2	3年間＝自営して経営していくための準備期間		
3年	補助金なしの 運営体制構築	前年の目標 を基に運営	運営の 反省・今後 の考案

	月	火	水	木	金	土	日
業務	営業	定休日 営業	ミーティング 営業	イベント 営業	営業	営業	営業

通常営業  
(水・木以外)

- ・昼 (カフェ)
- ・夜 (バー)

雑貨スペース  
1区画 (50cm × 50cm)  
月2,000円 × 4

ミーティング  
(水)

- ・商店街関係者の意識改革
- ・勉強会・ワークショップ

イベント  
(木)

- ・町づくりの勉強会 (外部講師)
- ・市や県の職員・議員との意見交換

# 補助金の必要性

単価×予想客数×営業日数・貸出区画＝収入

328,000円

一方月の支出

429,800円

差額

-101,800円

補助金が必要



# 課題の解決法

# 〈事業主〉 継続の問題

募集条件

学生に絞ら  
ない若者

まちづくりに  
興味がある人

対象

環境づくり

人や機関と  
つなぐ

継続性、運営体制の強化を図る

## 〈市政〉 連携不足の解消

政策

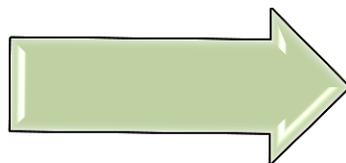
運営  
サポート

新事業  
体制

お金の補助だけでなく、  
コミュニティカフェにて  
意見交換

# 〈商店街〉 意識を改革

店舗運営者



コミュニティ  
カフェで勉強会

商店街を  
内部から  
活性化

# コミュニティカフェ

連携

```
graph TD; A([連携]) --> B[商店街活性化]; A --> C[市民と市役所]; A --> D[まちづくりに関心ある若者];
```

商店街  
活性化

市民と  
市役所

まちづくり  
に関心ある  
若者

ご清聴ありがとうございました。

インタビュー協力

宇都宮市役所経済部商工振興課(11/17訪問)

オリオン通り商店街曲師町商業協同組合(11/8訪問)

オリオン通り商店街振興組合(10/28訪問)

宇都宮大学教育学部教授(11/16訪問)

KANMAS関係者(12/15訪問)

参考画像

「タウンフォトネット」(2015/12/13アクセス)